

昔研究室（環境ビジネス・炭素経営学）

教員名：昔 ^{ソク} ^{サニ} 宣希

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

持続可能な開発目標（SDGs）やパリ条約において、国際社会の取り組みと国のレベルの政策の強化が拡大・加速されています。特に、規制と自主的行動に基づいていた環境に関連する既存の政策が、炭素価格付け（カーボンプライシング）などという市場誘引政策に切り替わりつつあります。その中で、資源と技術を持っている企業の役割は重要であり、環境ビジネス及び炭素経営を通じた持続可能な発展へ先導的な役割を追求されています。



1. CARBON PRICING POLICY:

attaching a price to greenhouse gas emissions has been introduced as a key measure for climate change.

2. CARBON MARKET:

a unified global carbon market would emerge, triggering the necessary investments to transition to a low-carbon economy.

3. MARKET LINKAGES:

carbon market linkage will yield opportunities and changes for private sector doing business in multiple countries.

4. BUSINESS PERSPECTIVES:

a pivotal role in making a transformational change towards achieving sustainable development.

気候変動政策の円滑かつ成功的な導入と運用のためのビジネスの役割と観点に着目し、この研究室では、炭素価格付けに対応するビジネスの取り組みを研究します。具体的には（1）炭素価格付け（カーボンプライシング）政策、炭素市場及び国際炭素市場の連携に関する分析、（2）企業の環境ビジネスの展開、炭素経営に関する実証的分析、また、（3）マクロ計量経済モデルを用いた炭素価格付け及び技術革新による長期経済・環境への影響分析などを行います。これらの研究は、関連する政策についての企業の対応現状と観点を明らかにし、さらに企業のプロアクティブな炭素経営の促進及び政府の制度改善と効果を増大する政策提言を提供することに役に立ちます。

● 先輩はどんなところに就職しているの？

2019年度新しくできた研究室で、まだ卒業生はいませんが、国内外の様々な分野で活躍し、世界の環境に貢献する人材になってもらいたいと思います。

（右写真：他大学で行った講義中グループワークの様子）

